



大淀川水系(上流部)内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
 - (2)この水害リスクマップは、現況の大淀川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100(1%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水による大淀川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 - (4)この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を示すために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - (5)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年8月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
- (1)公表年月日 令和8年2月16日
 - (2)作成主体及び対象となる流域 国土交通省九州地方整備局
・宮崎河川国道事務所 大淀川水系大淀川流域
 - (3)実施区間
【宮崎河川国道事務所】
大淀川水系大淀川上流部
左岸:宮崎県都城市大字五十町字瀬戸上1294番の2の乙地先から宮崎県都城市高崎町瀬下小牧4188番地先まで
右岸:宮崎県都城市大字五十町字瀬戸5294番の3地先から宮崎県都城市高崎町有水上大久保1223番の92地先まで
大淀川水系庄内川
左岸:宮崎県都城市庄内町東車田9784番の4地先の鉄道橋下流端から大淀川への合流点まで
大淀川水系沖水川
左岸:宮崎県都城市大字川東字下川内2494番地先から大淀川への合流点まで
右岸:宮崎県都城市大字川東字中尾下4055番地先から大淀川への合流点まで
 - (4)算出の前提となる降雨

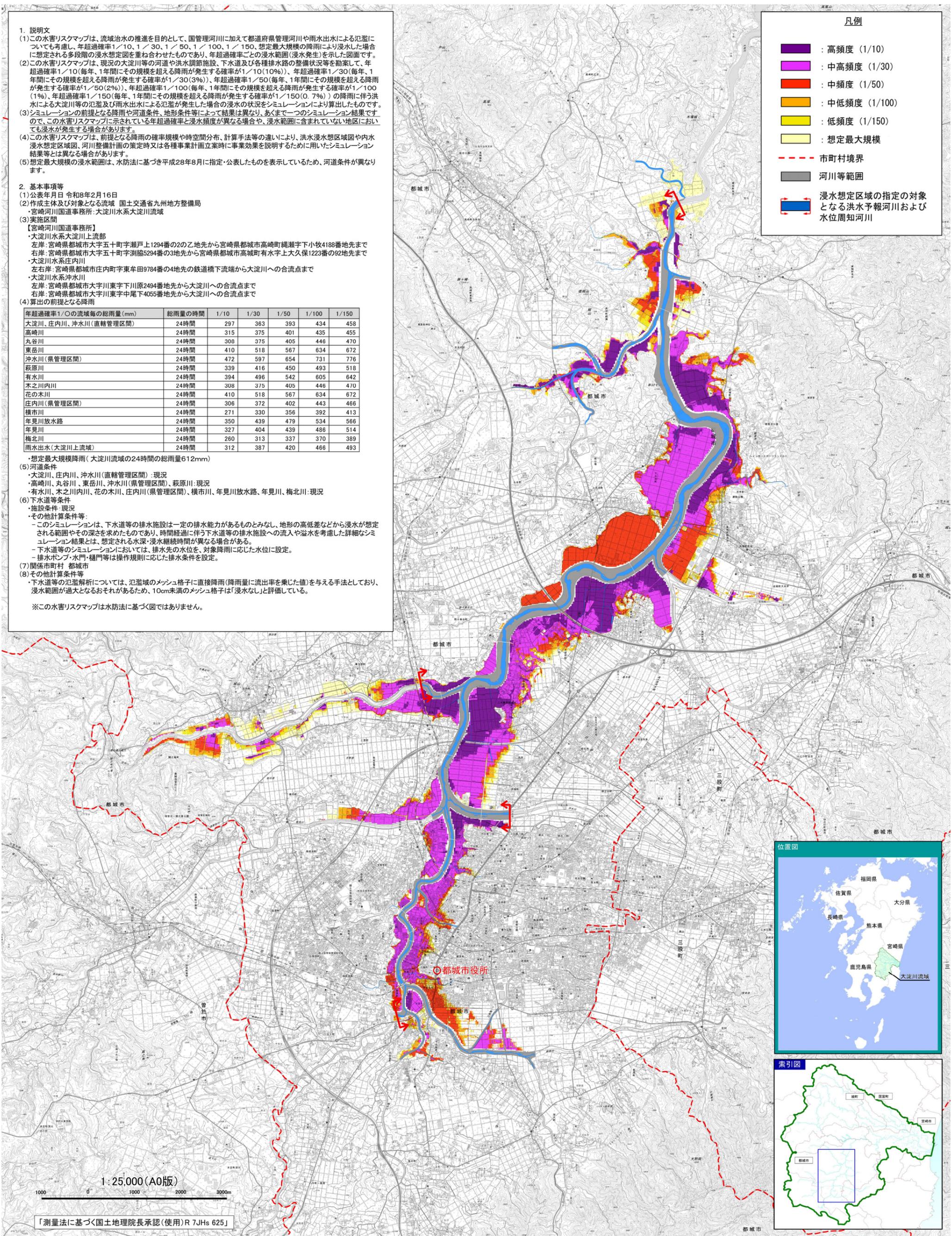
年超過確率1/〇の流域毎の総雨量(mm)	総雨量の時間	1/10	1/30	1/50	1/100	1/150
大淀川、庄内川、沖水川(直轄管理区間)	24時間	297	363	393	434	458
高崎川	24時間	315	375	401	435	455
丸谷川	24時間	308	375	405	446	470
東岳川	24時間	410	518	567	634	672
沖水川(県管理区間)	24時間	472	597	654	731	776
萩原川	24時間	339	416	450	493	518
有水川	24時間	394	496	542	605	642
木之川内川	24時間	308	375	405	446	470
花の木川	24時間	410	518	567	634	672
庄内川(県管理区間)	24時間	306	372	402	443	466
横市川	24時間	271	330	356	392	413
年見川放水路	24時間	350	439	479	534	566
年見川	24時間	327	404	439	486	514
梅北川	24時間	260	313	337	370	389
雨水出水(大淀川上流部)	24時間	312	387	420	466	493

- ・想定最大規模降雨(大淀川流域の24時間の総雨量612mm)
- (5)河道条件
・大淀川、庄内川、沖水川(直轄管理区間):現況
・高崎川、丸谷川、東岳川、沖水川(県管理区間)、萩原川:現況
・有水川、木之川内川、花の木川、庄内川(県管理区間)、横市川、年見川放水路、年見川、梅北川:現況
- (6)下水道等条件
・施設条件:現況
・その他計算条件等:
-このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
-下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
-排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
- (7)関係市町村 都城市
- (8)その他計算条件等
-下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川



1:25,000 (A0版)
「測量法に基づく国土院院長承認(使用)R 7JHs 625」